

第73回“社会を明るくする運動”
～犯罪や非行を防止し、立ち直りを支える地域のチカラ～



“社会を明るくする運動”は、すべての国民が、犯罪や非行の防止と立ち直りに
ついて理解を深め、それぞれの立場において力を合わせ、明るい地域社会を
築くための全国的な運動です。

これまでたくさんの方々の御尽力を賜り、ありがとうございます。おかげさまで
今年で73年目を迎えました。

犯罪や非行の背景には、望まない孤独や社会的孤立など、社会における様々な
“生きづらさ”が存在していることが少なくありません。その“生きづらさ”に寄り添い、
人と人との互いに支え合うコミュニティを築くことこそが、安全で安心な明るい
社会の実現につながっていきます。

本運動を通じて、保護司をはじめとする民間協力者、そして、地域の多くの方々に
御理解と御協力をいただきながら、“生きづらさ”を抱える人、再出発を図ろうとする人
を受け入れることのできる、包摂的な社会の実現を目指し、犯罪や非行の防止と
立ち直り支援に取り組んでまいります。

本年、第二次再犯防止推進計画が策定されました。新たな計画に基づき、
国や地方公共団体が一体となって、再犯防止に向けた取組をより一層力強く
推進していくことが重要です。

国民の皆様には、“社会を明るくする運動”の社会的意義を御理解いただき、
犯罪のない明るい地域社会づくりに取り組む決意のしるしである「幸福の黄色い羽根」
のもと、本運動に御参加いただきますよう御協力をお願いいたします。

内閣総理大臣

岸田文雄